

【評価対象年度 2023年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	小山ヶ丘学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市小山ヶ丘5-37(小山ヶ丘小学校敷地内) 【開設年月】 2005年 【開所日時】 月曜日～土曜日／8時～19時 【建物面積】 延床面積 399.54㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 187名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://afterschool.keikoukai.ed.jp/oyamagaoka/		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 景行会	法人番号	9012305000203
指定管理者所在地	町田市藤の台1-1-56		
指定期間	2021年4月1日～2026年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
職員の継続的勤務	毎年度	2023年度の常勤職員の退職はなかったが、長い間勤務していた非常勤職員が数名退職した。
研修参加回数5回以上	毎年度	常勤職員は平均12.4回参加し、目標を達成した。町田市の研修がオンラインでの参加が可能になったため、非常勤の参加も増えた。
利用者満足度90%以上	毎年度	利用者満足度(全体)は93.9%で、目標達成となったが、昨年度比で4.7ポイント減少した。「不満」と回答した人は減ったものの、「やや不満」が多くなった。保育の質を向上させるよう努めてほしい。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	C	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体及びサービス・施設管理面において、目標値である95%には届かなかったものの、ともに90%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。また、利用者満足度調査回収率は90%を超えており、利用者意見の収集に対する取り組み成果がうかがえる。研修の平均受講回数はA評価の基準を超える12.4回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。業務履行状況・財務状況は、「施設の運営方針・管理方針」の項目における「市への報告書類の提出」において、育成日誌及び育成記録の提出遅れが年間で計4回あったことから、要求水準を満たしていないと判断した。本件については、市が指定管理者に対して厳重注意とした。以上のことから、総合評価を「C」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	社会福祉法人景行会の施設運営理念に則り、児童一人一人の人権を守り、また、人としての尊厳を大切に保育と、豊かな人格形成を目標にした活動を行った。今年度も、提案内容の3項目全て目標を達成出来たが、雇用に関しては、長い間勤務していただいた非常勤職員が数名退職したので子どもたちや保護者を不安にさせてしまった。満足度調査の全体満足度では概ね満足していただいている結果がでたが、昨年度より満足度を下げたので、今後の保育の質を上げていきたい。新型コロナウイルス感染症が5類になり、保護者交流会を開催したところ、43家庭が参加し、交流を楽しんだ。保護者交流会は今後も続けていきたい。地域のサッカー大会(小山ヶ丘、藤の台ポケット、小山中央、小山)を例年通り実施した。学童の裏手にサツマイモ畑を作り、収穫して食べるなどの活動を子どもたちの反応も良かった。今年度はお別れ遠足(新江ノ島水族館)へ行き、雨だったが子どもたちも楽しんでた。また、退会式には思い出DVDを作成し保護者からも好評だった。	

【評価対象年度 2023年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2024年1月9日～2月29日(51日間) 【登録児童数】162名(調査月1日時点) 【配布枚数】145枚 【回答数】131枚 【回収率】90.3% 【調査方法】(配布方法)お便りと一緒にアンケート用紙を配布。オンライン (回収方法)回収箱を設置して回収。オンライン
------	--

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	93.9%	B
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	95	95	95	95	95
実績値	95.5	98.6	93.9		

指標2	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	92.2%	B
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	95	95	95	95	95
実績値	93.3	92.6	92.2		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	5回	12.4回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	5	5	5	5	5
実績値	7.3	10.0	12.4		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者満足度においてB評価の基準を満たす75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の収集に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は12.4回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに提出していなかったことが年間で計4回あった。	否
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを施設点検記録で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを「社会福祉法人景行会個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを「苦情処理及び担当業務規定」で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを「安全管理マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを安全管理マニュアル等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が46.8%であることを「職員調書」で確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年11月17日に小山ヶ丘学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年11月17日に小山ヶ丘学童保育クラブでモニタリングを実施し、賃金台帳の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
否	(1)指定管理業務の履行状況の確認における施設の運営方針・管理方針の項目について、「育成日誌」及び「育成記録」を期日を過ぎて提出されたことが年間で計4回あったため、否と判断した。本件については、嚴重注意し、再発防止策を講じさせるなど、改善勧告を行った。また、その他の項目については、要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2021		2022		2023		2024		2025	
項目		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	52,111	40,289	53,834	46,544	52,099	49,136	22,472		30,677	30,678
	特別育成料	400	637	600	721	600	687	200		300	246
	雑収入	24	24	24	8	0		0		0	
	寄付等	0	0	0		0		0		0	
	計	52,535	40,950	54,458	47,273	52,699	49,823	22,672	0	30,977	30,924
支出	人件費	46,927	33,045	46,742	38,025	45,155	40,554	15,880		25,702	25,043
	管理費	1,221	1,024	1,332	1,264	1,568	1,180	756		763	638
	運営費	1,204	924	1,390	1,102	1,282	1,180	430		578	379
	精算する経費	1,700	2,626	1,700	3,146	1,700	2,775	1,700		1,450	1,493
	間接経費	1,483	1,464	3,294	474	2,994	656	3,706		2,484	80
	計	52,535	39,083	54,458	44,011	52,699	46,345	22,472	0	30,977	27,633
総計(収入-支出)		0	1,867	0	3,262	0	3,478	200	0	0	3,291

(2)指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2021	2022	2023	2024	2025
経常利益率	2.1	0.5	1.9		
負債比率	9.2	10.1	8.2		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率は低いが、負債比率は適正な値であり、今後も適切な施設運営が可能であると考ええる。